

受験番号	
------	--

令和6年度大阪府・大阪市・堺市・豊能地区公立学校教員採用選考テスト

中学校 美術 解答用紙 (2枚のうち1)

--

3	得点	
---	----	--

(1)	①	ア	作者名	レンブラント・ファン・レイン (レンブラント)	/		
			作品名	夜警	/		
		イ	作者名	オーギュスト・ルノワール (ルノワール)	/		
			作品名	ムーラン・ド・ラ・ギャレット	/		
		②	<p>ルネサンス後の17世紀、画家たちは調和を重んじる表現から、よりインパクトの強い表現をめざした。この時代の芸術をバロックといい、作品ア (レンブラントの「夜警」) からは、あえて暗い色調で描き、劇的に見せるためスポットライトを中心の2人に当てているかのように描くことで光と影の明暗の対比から作者の主題が強調されている。</p> <p>その後18世紀では写実主義を経て、絵の具を長時間保存できる金属チューブの開発により、画家たちは戸外で制作できるようになった。その時代の代表的な作家であるモネは刻々と変化する自然を見逃すまいと何度も同じモチーフを描き続け、物体の輪郭や奥行きがはっきりしない絵が特徴的である。作品イのルノワールも同様に、パリ郊外の野外ダンス上で踊る人々を情感豊かに描いた。特徴的なのは降り注ぐ光を地面や人の背中に斑点のように描き、ゆらめく木漏れ日をうまく表現している。</p>			/	
	(2)	プロジェクションマッピング			/		

--

--

--

--

受験番号

令和6年度大阪府・大阪市・堺市・豊能地区公立学校教員採用選考テスト

中学校 美術 解答用紙 (2枚のうち2)

4

得点

題材名	<p>おもてなしの器 ～日本の魅力を感じてください～</p> <p>採点基準</p> <p>○内容のまとまりと齟齬がないか。(5点)</p> <p>あきらかに題材名と内容のまとまりが違うものや抽象的な表現の題材名は×。</p> <p style="text-align: right;">/</p>
(1) 題材の概要	<p>グローバル社会に生きる生徒たちにとって、多様な日本文化の魅力を感じ、伝える力の育成が求められる。本題材では、そうした日本文化のよさや美しさを感じ取り愛情を深めながら、</p> <p><u>①盛り付ける食に応じた使いやすい機能と美しさなどの調和を総合的に考える力を育成するため、</u></p> <p><u>②日本に訪れ、日本食に出会う多様な外国人観光客等の気持ちを考えながら、おもてなしの気持ちを感じてもらえる器を加工粘土を用いてさまざまな成形方法を使って制作する。</u></p> <p><u>③総合的な学習の時間に国際理解教育の一環として、諸外国の文化を調べながら、国際社会の中の日本を学ぶ。本題材では総合的な学習の時間と関連付けながら、国際社会の中の日本の魅力を食や器の視点でさらに深める。</u></p> <p><u>④来日した外国人の方に日本の魅力を感じながら、日本の食事を楽しんでもらうことを基に機知やユーモアなどから主題を生み出し、使いやすさと遊び心などとの調和を総合的に考え、アイデアスケッチ等を行いながら表現の構想を練る。発想や構想を行う際には、どんな食べ物を入れる器なのかについても構想に盛り込ませる。制作過程においては、加工粘土を用いて制作を行い、釉薬で絵柄を着色させる。</u></p> <p><u>⑤完成した器は、実際に使用し、タブレット端末のカメラ機能で撮影してきたものをレポートでまとめて鑑賞を行う。</u></p>



	<p>採点基準</p> <p>①生徒の育成を目指す資質・能力を明確に示している。【7点】</p> <p>②内容のまとまりと齟齬がない。【7点】</p> <p>③教科横断的な視点の組み立てがある。【7点】</p> <p>④何から主題を生み出すのかを示し学習の流れを簡潔に示している。【7点】</p> <p>⑤一人一台タブレット端末の効果的な使用がある。【7点】</p> <p style="text-align: right;">/</p>
(2)	<p>・導入では、総合的な学習の時間で調べた伝統工芸や食文化について、造形的な視点から、再度日本の魅力を感じ取る。さらに、家庭や売り場等にある器について実際に器に触れたり使ったりしながら調べ学習を行い、それらについて班で協議する等の鑑賞の学習を組み込む。</p> <p>また、構想の段階では、互いのアイデアを鑑賞し批評し合う時間を設定することで、表現活動につなげさせ、制作後にも、再度、他者の作品を鑑賞する時間を設定する。</p> <p>採点基準</p> <p>表現の学習が鑑賞に活かされ、鑑賞の学習が表現に活かされる工夫がされているか。鑑賞が単なる表現の為の参考作品として扱っている記述は学習効果とはいえない。</p> <p style="text-align: right;">/</p>
(3)	<p>導入時から日本の美を象徴する形や色のイメージについて、これまで得てきたそれぞれの情報を出し合うことで、可視化し、発想や構想の段階では、アイデアスケッチに言葉を入れながら、考えを整理したりできるワークシートを使用する。また、構想の早い段階や作品の完成後には、主題に応じた形や色が表現できているのかという視点をもちながら、他者と互いに意見を出し合う時間を設定する。</p> <p>採点基準</p> <p>〔共通事項〕に示す事項を視点に、対象の見方や感じ方を深める指導工夫できている。</p> <p style="text-align: right;">/</p>

